



2020年(令和2年)
10月1日 第9号

各面の内容

2,3 カヌーってすごい



4 「ドイツ」を調べてみた

オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こどもたちが記者になって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにおどける新聞です。

【おこわり】 第9号は新型コロナウイルスの感染拡大前に取材した記事を含め構成しました。

夢へ努力 今しかない



オンラインの取材に丁寧に答える河合純一さん

こども記者は8月3日、オンラインにより、視覚障害を持つ元競泳選手で日本パラリンピック委員会(JPC)委員長の河合純一さんにお話しを聞きました。

日本パラリンピック委員会委員長 河合純一さん

三日ぼろろでも成長
特に印象に残ったことは「一口だけの人よりも、一日でもいいから(何かチャレンジした方が)三日ぼろろでも、絶対に成長してると思う。だから、一日でも頑張ったことをほめてあげてください。次は2日いいように頑張ろうと思えたらいいだけだから」という話です。
【小4/木村夏央】

パラ6回でメダル21個
河合さんは約45分間、こども記者のいろいろな質問にとてもいいいにわかりやすく答えてくださいました。17歳からパラリンピックに6回も出て、金メダル五つを含む計21個ものメダルを獲得しました。目が見えたら旅行や夕日を見に行きたいそうです。
【小4/松本匠平】

見えなくなっただけ
河合さんの一番すごいと思ったところは「目が見えなくなっただけで、目が見えなくなっただけでしょ」としか思わなかったことです。他の選手の動きを見て、まねするのができな



2004年のアテネ・パラリンピックで金メダルを取り、雄たけびを上げる河合純一さん(毎日新聞提供)

失敗は成功への道

1年延期された東京パラリンピックの成功のために尽力されている河合JPC委員長は、競技連盟を通じて選手のアンケートを取り、メンタルサポートのセミナーを行うなど、新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻れるよう努力している。「感染対策をやっていし、できるはん囲でサポートしたい。何より、パラリンピックを日本や世界の人人々に楽しんでもらいたい」と来年への思いを語ってくれた。「夢への努力は今しかない、失敗は成功のために通らなければならない道」と子どもたちへ熱いエールを送ってくれた。
【小6/宇高愛結】

記録にも記憶にも残る
河合さんは中学生で目が見えなくなりましたが、それでも視力が悪かったから、ただ見えなくなっただけと考えたそうです。とても心が強

い人です。パラリンピックで緊張した時は笑顔を作ったり、観客に手を振ったりして緊張を和らげたそうです。記録を残した選手は私たちの記憶にも残る立派な方でした。
【小5/藤野琴子】

進む道はたくさんある

河合さんはJPCの委員長です。お仕事は毎朝9時半に出勤し午後6時半まで。国のスポーツ関連の方との打ち合わせや、計画作りなどです。趣味の読書は携帯電話の「読み上げ機能」を使い、みんなが読めないほどの速さで読むそうです。目が見えなくても進む道はたくさんあることを教えてもらいました。
【小4/岡田虹心】

健常者と同じ接し方で

河合さんは「君の隣臓をたべたい」という映画がすごいそうです。ヒロインが重い病気にかかっていると知っても、変わらない態度で接する主人公を好きになるというお話です。障がいのある人と接するときは、なるべく健常者とおなじようにして、と言いたいのかもかもしれません。
【小6/水島希】

もし見えなくなったら

私はちょうど河合委員長が全盲になられた頃と同じ年なので重ねて考えてしまいました。今は部活で物語を書き、百人一首をしています。もし目が見えなくなったらと想像してみると恐怖です。でも、河合委員長がおっしゃるように仲間、家族、良い指導者がいたら頑張れるかもと思いました。
【中3/今津知萌世】

ゆめをあきらめず

かわいさんはだんだん目が見えなくなりました。でも、目が見えなくなっただけで、他の部分は何かわかっていないのだからと考えて、先生や水泳の選手になるというゆめをあきらめませんでした。かわいさんは自分が弱いと知っているぶん、他の人よりも強いかもしれないと話していました。
【小5/N・B】

生徒が手作り金メダル
河合さんは中学校の教師をしていて時に出場したシドニー・パラリン

ピックが一番印象に残っています。生徒たちは「金メダルを取らないと教室に入れてあげない」と言って応援したそうです。金メダルを取って教室に入ると、生徒たちは自分たちで作った金メダルをプレゼントしてくれました。
【小6/石井たまき】

プールに入ることが一番

河合純一さんは「金メダルを取ったときには表現できないほど嬉しく、応援してくれた人たちへの感謝の気持ちがあった。競技場で人と交流を深めることも楽しい。でも、プールに入ることが一番。僕の中では、プールに入るだけでも、生きてて良かったぐらいの気持ちになれるから」と、嬉しそうに話していた。
【小5/細澤東希】

夢は2020パラ大会 大成功

パラリンピックに出場した元選手が日本パラリンピック委員会委員長に就任したのは河合さんが初めてです。次の夢は、東京2020パラリンピックの大成功です。「多くの人にパラリンピックの魅力を伝え、大会の開催中には、選手の活躍を目で見て楽しんでもらいたい」と話していました。
【小4/柴本優日】

教育プログラム
【ようい、ドン!】